

# ONLY 1 オンリーワン 企業紹介



逆境を逆手にとった“運べる茅葺小屋”の開発  
ものづくりと自然を愛する若き茅葺職人の挑戦

運べる茅葺小屋。犬小屋でも遊具でも使い方は自由。

## 日本の風景に茅葺屋根を残したい

### 佐藤茅葺店

#### 次の世代に見せたい景色がある

茅葺屋根が立ち並ぶ田園風景。かつてはどこでも見られた景色が今、少しずつ消えようとしている。日本人の暮らしのスタイルが変わったことも一因だが、意外と知られていないのが消防法による規制。現在の日本では、特定の観光エリアにある特区以外でしか新築建物の屋根材としての茅葺の使用が認められていない。

「茅葺屋根ってどう作るか知っていますか。縦も横も全て、人の目線だけで作るんです」。21歳で縁あって出会った茅葺職人の道。職人の腕一つに任される設計の自由さと、茅葺の屋根材としての優れた適性に強烈に惹かれた佐藤偉仁さんは、修業後独立。“次の世代が見る景色に、茅葺屋根を残したい”、その想いのもと生まれ育った秋田に「佐藤茅葺店」を開業した。

できない。

だからこそ、できることがあった

消防法上、新築建物に茅葺は使用できない。しかし、10㎡以下の小屋や屋根の庇など家屋の一部であれば茅葺屋根にできる。だったら、10㎡以下の茅葺小屋を作ってみよう。

佐藤さんの思いついた方法はとてもユニークだ。逆転の発想から完成した「運べる茅葺小屋」は、東京ビッグサイトで開催されたギフト

ショーで大きな注目を集めた。1棟ずつオーダーメイドなので大量生産はこなせない代わりに、大きさ・形・素材などは自由自在。小さな茅葺小屋は全国各地の企業からの問い合わせの他、雑誌にも取り上げられたことで一般の方からの注文も入るようになった。



全てが手作業。通常は2人のお弟子さんとともに作業を行う。

#### 茅葺をもっと身近な存在に

佐藤さんは仕事の傍ら、茅や身近な植物を使用したワークショップも開催している。子どものうちから自分が惹かれた“ものづくり”や“自然”に触れるきっかけを与えたいからだ。「知らない人にこそ知ってほしい。茅葺職人がもっと身近な存在になってくれれば嬉しいですね」。

“運べる茅葺小屋”をきっかけに、今年の夏は韓国の日本大使館でワークショップの開催を予定している佐藤さん。日本の古き良き茅葺文化はいま、時代と国境を越えて確実に広まろうとしている。



代表  
佐藤 偉仁  
Hideto Sato

#### 佐藤茅葺店

〒013-0105  
秋田県横手市平鹿町浅舞餅田 90-2  
TEL.0182-24-0648  
URL <http://kayabuki.jp/>

#### 会社概要

業務内容は茅葺屋根工事／茅葺小屋の設計販売。昔からの茅葺き職人と同様に、夏期は兼業農家として、冬期は一般の民家から重要文化財の建物まで、弟子2名とともに全国各地で茅葺の修繕を行う。

